



館蔵資料展「小金城と根木内城」の開催について

1. 目 的

大谷口歴史公園と根木内歴史公園は、市民憩いの場として親しまれています。しかし、松戸の歴史を語る上で欠かせない二つの城の詳細は、十分には解明されていません。東葛飾最大の城郭であった小金城と、それに次ぐ規模の根木内城を通して、市域の戦国時代を垣間見ます。

2. 期 間

令和2年1月11日（土）～3月22日（日）9時30分～17時
※入場は16時30分まで

3. 会 場

松戸市立博物館 企画展示室

4. 観覧料

無料

5. 展示の内容・構成とポイント

(1) 出土資料からみる城の生活

小金城も根木内城は、多くの人々が暮らす生活の場でした。遺跡から発見された多種多様な陶磁器・土器などの道具を、当時の絵巻物の助けを借りながら、生活資料として説明します。

(2) 二つの城の役割、立地と歴史

城の一番重要な機能は戦争への備えですが、二つの城には別な機能もありました。それぞれがどんな目的で大規模に建設されたのか。模型や写真を使って解説します。

(3) 私たちの街の戦国時代

昨年、市指定文化財になった「西原文書」と「豊前氏古文書」から、市域での戦争の実態や東日本の様子を垣間見ましょう。読むのに骨が折れる崩し字ですが、理解しやすくなる工夫を随所にほどこします。

6. おもな展示資料

- (1) 青磁・白磁・染付^{そめつけ}などの輸入陶磁器、瀬戸美濃や常滑ほかの国産陶器やカワラケ・土鍋類から漆器、鎧の^{こざね}小札^{つば}や^{しゅはんろんえまき}鏢・弾丸といった武器や武具。「酒飯論絵巻
(写真展示／文化庁提供)」



- (2) 小金城模型・根木内城模型、松戸市北端部の空中写真、両城の旧観写真、本土寺過去帳から抜き出した合戦記事一覧パネルほか。
- (3) 北条氏康書状、千葉胤富書状、足利義氏書状、北条家朱印状、今川氏真感状ほか。

7. 関連事業

(1) 野外見学会「小金城・根木内城を歩く」

日時 令和2年3月15日(日) 12時30分～16時

※雨天等延期時の予備日：3月21日(土)

担当学芸員 中山文人

(2) 展示解説会

日時 令和2年1月19日(日)、2月1日(土)、3月22日(日)

各14時から(40分程度)

【問い合わせ先】

生涯学習部博物館 ☎047-384-8181

おもな展示資料



①小松菜のゴマ和えでも載せそうな
かいゆうほぞりざら
灰釉端反皿 (小金城跡)



②みそ汁や吸い物を味わった
漆器 (根木内城跡)



③輪宝を描き、地鎮用に柱穴に埋めた
カワラケ (小金城跡)



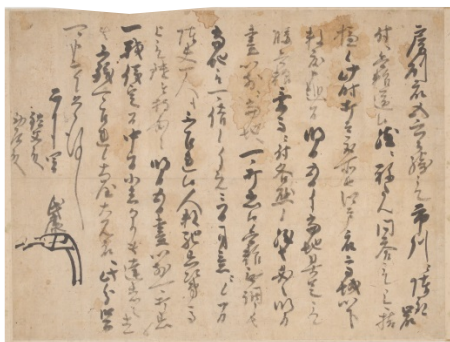
④内側3ヶ所に紐通しが付いた
内耳鍋は鉄鍋の代用品 (小金城跡)



⑤[写真]小金城の中枢・本城地区を望む(1962年)



⑥[写真]根木内城の嚴重な障子堀(2003年)



⑦北条 vs 里見の国府台合戦で
小金城主高城氏が決定的な役割
を果たしたことが記されている
北条氏康書状(西原文書)



⑧武田 vs 北条・今川の戦場からほど遠い松戸・市川へ侵略した安房の里見は、畑を荒らしただけで転進する。戦闘参加の実績稼ぎの軍事行動でも、戦場の村には飢饉が。
千葉胤富書状(豊前氏古文書)